



発行所 新潟市役所 新潟市西通6番町 電話 代表(28)1000 編集人 高橋甲子 (新潟市民会館庶務部) 印刷所 (株)旭光社 市の人口 前月比 人口 430,658(+427) 男子 210,790(+259) 女子 219,868(+168) 世帯数 134,722(+66) 52年6月末現在

不況対策の一助に

九月末までに八割工事発注

七月五日現在 昨年度比二倍の発注高

慢性化している不況に対して、市は、市民生活優先を基本理念とし、生活基礎の整備など、施策策をできるだけ不況期と有機的に連動させるとともに、工事の早期発注を行い、民間経済の不振を立ち直らせる一助に、としました。

新潟市の今年度の普通建設 学校、坂井東小、上小、

設事業費は、当初予算額で 中学校の新設、その他の小

百二十八億円。うち、七月、中学校の増、改築、中部

五日現在、工事を発注した 下水処理場移設のための

は、六十九億円。発注率 下水道施設建設、放流渠

で五四に達しています。 築造、雨水放流渠築造、そ

昨年度の七月五日現在を 新山田地区公営住宅三棟の

みますと、当初予算額で百 輸排水区間の下水道築造

億円。発注額が三十五億円。 況の度合を、相当に深刻

発注率で三五。 新築、中山地区改良住宅一

従って、今年度と昨年度 棟の新築、生道通、通学

とを比べると、金額にして 路を優先した道路創設

約二倍発注しています。 約、学校環境の整備、生活

その主なものは、竹尾小 基礎の整備に力点を置いて

日の本戸地区を最後に十九 望は、学校の新、増改築、

会場での閉じました。 保育所、子どもの遊び場

が出席し、教育、保育、生 通学路の整備、図書館、公

活環境などについて活発な 民館の充実、除雪計画は一

話あい行われました。 除雪計画については、昨

今回は後半の婦人懇談会 年の反省をもとに今年夏

私もひと

この間、歩道の掃除を している、宿舎の他 郷人らしいのが五、六人 朝市見物のためか、通つ いた。

無料入浴券や一 使えるのはお年寄りだけ

あーア、いい湯だなあ 御風呂に入った一汗流す 御風呂のいいですね。 特にお年寄りの御風呂は 切っても切り離せない関係 浴場の大切を社交 浴場のひとです。たまには ゆつくりと公共浴場で世間 話でもーというところし 出てきそう。身も心もさっ きれいな入浴券を使っているという 声もポツポツと聞かれます。 多分、ついつい、うっかり使 ってしまったのでしょうが、 せっかく、お年寄りのため

善意の寄付

社会福祉のために 長 日原順三郎、野崎ヨシノ(末広町) 読光新聞版 光研センター、加藤安五郎(埼玉大宮市) 阿部 邦(中野山) 新潟フオー クダス同好会、代表者 荒井保(小針) 三愛観光 開発(春日町)

寺尾・坂井・の一部 五十嵐下谷内 町名を変更

七月十三日から、寺尾、坂井、及び五十嵐下谷内、それぞれの一部が、寺尾地区画整理事業の施行に伴い、町名が変わりました。(別表) 町の区域は、別図のとおりです。

多学校・保育園の要望 除雪計画は八月中に発表

の間に計画を発表、市民から意見を求め、冬除雪計画は八月中に発表、市内各、各地区の話題と内容を紹介します。

第6回全国身体障害者技能競技大会参加募集

期日 10月25日~27日
会場 中央技能開発センター(千葉市)
主催 身体障害者雇用促進協会
競技職種▷旋盤▷時計修理▷洋裁▷洋服▷和裁▷家具▷建具▷写真植字▷建築製図▷機械製図▷木工塗装▷広告美術▷ラジオ、テレビ修理▷和文タイプ▷カナタイプ(視覚障害者に限る)▷電話交換(視覚障害者に限る)
申し込み 8月18日まで市市政課へ。
お問い合わせもどうぞ。

沼垂図書館新着図書

書名	著者名
聖母伝説	半村 良
若き怒濤	村上 靖
越後の聲女唄 冬の旅	村山 富士子
雪の囁き	森村 誠一
残照に立つ	曾野 綾子
常紋トンネル	小池 喜孝
お母さんには不思議な力がある	上坂 冬子
日本の父へ	グスタフ・フォス
チーズのきた道	橋田 文三郎
英語のでこぼこ道	西山 千

そのほか子どもへのえほんもたくさん入りました。

舟栄図書館新着図書

書名	著者名
乱塾時代	毎日新聞社会部
日本改造論	太田 薫
夏目漱石の恋	宮井 一郎
石川啄木の秘密	大沢 博
中夏日記	中山 千夏
迷宮	倉橋 由美子
園芸百科事典	主婦の友社編
パレリーヌの羽ばたき	森下 洋子
絵島の恋	平岩 弓枝
白い家の少女	レード・コニア
離魂列島	小栗 育夫
夜の三つの年齢	マレ・ジョリス

新着図書の貸出日は1. 11. 21日(予約制)です。

地方自治法30年記念 懸賞論文募集

題名 あすの地方自治
要領 原稿は200字詰原稿用紙60枚とし、①はじめに目次を附し②800字以内の本文要旨を添え③応募者の住所、氏名、生年月日、職業(勤務先の名称、部署名、地位など)をくわしく、在学中の方は学校名、学部、学年)を明記してください。
送り先 封筒に「30周年記念論文在中」と朱書き、東京都港区芝西久保明舟町1財団法人自治総合センターへ(☎03-504-0841~3 〒105)
入選者の発表 11月中旬
※なお、原稿は未発表のものに限り、応募した原稿は返却しません。



農村地帯の麓野木、大江